

□議員名：山田伸幸

1 藤田市長の社会保障に対する認識について

論点	社会保障がどうあるべきか、市長の認識は。
回答	憲法25条に基づき国の社会保障制度が整備されている。本市でもさまざまな社会保障に係る事業を展開している。社会保障政策は生活基盤の根底をなすもの、市民の生活を生涯にわたって支えていくという最も重要施策であると認識をしている。

論点	社会保障には高齢者の福祉、子供の福祉、障害者の福祉、生活困窮者など、さまざまな側面がある。市長はどういった分野に特に力を入れていきたいと考えているのか。
回答	全て大切である。長い目で、いろんな要素があり、子育て支援につながるような部分については、重要度があると認識している。

論点	所得が低い世帯が支えているという実態がある国民健康保険事業に対する取り組みはどうか。
回答	今年度も保険料の引き下げを行った。医療費を引き下げるために検診に対する取り組みを強化するなどして保険料が払いやすくなるように努力したい。

2 子どもの貧困について

論点	藤田市長は施政方針の中で「産業振興を通じた子育て環境の充実」と言っているが、子どもがいる家庭の貧困についてどのような認識を持っているのか。
回答	子育て支援は幅が広く、その中でしっかり教育環境が整うことが最終ゴールである。限られた予算の中でできることは何なのか、教育委員会と市長部局が一緒になって努力したい。

論点	就学援助の額が引き上げられたが、制服がある学校については入学時に用意する制服が高すぎるために、家庭の負担が大きい。入学時に必要な額は10万円を超える。制服が買えない家庭もある。見直
----	--

	しが必要ではないのか。
回答	制服が高価であることは認識している。支給額が十分ではないかもしれないが、国県の動向を見守りたい。制服のあり方についても考えていく。

3 公共交通について

論点	先進事例に学びバス便を見直し周辺部まで走らせるのをやめ、南北を貫く動脈を確立し、周辺部をデマンドタクシーで走らせるような検討はできないか。
回答	市が全て主導するのか、民間の皆様方の尽力をお聞きしながら、その中で他市の成功例に学びながら、十分検討の対象にして、その中でいい方向を定めてまいりたい。